

小中学校施設の大規模改造



上福岡駅東口駅前広場の整備



**問** 地域コミュニティを支える重要な役割を担っているのが町会及び自治会である。さらに、防災対策や孤立化対策を考えると、ますます重みを増している。「あったかいふじみ野市」を目指している取り組みは。

**答** 協働の推進を図る上で大変重要です。タウンミーティングでも、自治会の加入促進に関して、盛んに意見交換をしています。市報やホームページでもPRするとともに、あらゆる機会を通して、必要性などを訴えています。

**問** 組織力の向上は人材の育成にかかっている。特に若い人材をいかに育てていくかは、そのままふじみ野市の未来の姿そのものである。新しい人材、若い人材の育成・登用にどのような姿勢で臨むのか。

**答** 現在の管理職が大量に退職を迎えることから、若手職員に早い時期から職責に応じた実務を経験できる環境をつくり、人材育成を図っていきます。そのために、ワーキングチームを発足し、

### 地域コミュニティの向上 公明党

勉強会やミーティングなどを定期的に実施していきます。また、若手職員は、無限の可能性を秘めているものと期待し、「失敗から学ぶ」プロセスに重きをおいて、チャレンジする職員を応援していきます。

**問** 長期的な視点に立って、行政サービスのあり方を考えることから、庁舎などの公共施設のあり方を検討すべき。市民にとっては庁舎の位置づけや規模よりも、効率的に事務手続が行なえることが重要だ。庁舎に向かなくて済むシステムづくりを。

**答** ITを行政のあらゆる分野に活用することにより、市民の利便性の向上や行政事務の簡素化・合理化などを図ることが出来ます。わざわざ休暇を取らなくてもいいわけですから、便利なシステムであることは間違いないと思います。一方で、パソコンが使えない方がおり、相談業務なども多々ありますので、住民ニーズを見極めながら対応し、公共施設のあり方を検討していきます。

### 将来展望実現の具体策は 日本共産党

**問** 施政方針で示している各分野の施策において、近隣市に自信を持って情報発信できるふじみ野市のオリジナルは何か。

**答** この五年間の人口は三千人増加。その内の七三％が子育て世代です。市民が主役、子ども優先の政策事業を実施することにより子育て世代に多く住んでいただき、地域間競争の中で打ち勝つまちにしていきたいです。そして、高齢者も安心して暮らせるまちにしていきたいです。

**問** 合併後の六年間に、職員の大量退職と欠員不補充により業務内容の継承と行政サービスの水準の維持が困難になっているのでは。

**答** 職員が頑張って仕事をするのは当然で、まだスタートラインでしかありません。一円たりとも無駄なお金は使わないで限られた職員人数での行政運営を目指し、住民サービスの充実を図っていきます。

**問** 歳入の確保に向けて、約二五〇億円の起債（借金）の負担を軽減する方法として、五％の高金利を現行

**問** 一〇歳未満医療費無料化の年齢を十八歳まで引き上げできないか。

**答** 県内では滑川町が行なっていますが、本市では考えていません。

**問** 介護保険第五期計画に向けた調査で、保険料とサービス供給量についての回答では、「保険料を上げないでほしい」と「下げてほしい」を合わせると六八％。この声に応えて保険料減免・利用料無料化をすべきでは。

**答** 災害や特別な事情がある場合は保険料を減免していますが、厚生労働省は、三原則の中で全額免除は適当ではないと示しています。利用料の減免は、低所得者を対象に介護サービス利用負担金助成制度を継続していきます。



放課後児童クラブ整備事業



上福岡学校給食センター新設 事業

**問** 組織マニフェストは具体的などのような手法で行ない、どのように情報発信するのか。

**答** 質の高いサービスを提供するには、職員一人一人が自覚と責任をもって業務に取り組むことが必要です。この組織の指揮をとるリーダーとして、各部長が部の実態や状況に応じて組織マニフェストを作成しています。内容は市のホームページに公表、年度末の自己評価結果も公表します。

**問** 総合振興計画実現のために具体的な財政計画を示した三か年実施計画は、一般会計当初予算でどのように反映されているか。

**答** 歳入、歳出の規模はほぼ三か年実施計画どおりですが、個別に見ると地方交付税、地方債が減額、これに対応するため繰越金や過去に積み立てた公共施設整備基金の繰り入れを行ないました。

**問** 部門別では、計画にあった保育ステーションは今後保育を希望する人たちのニーズも把握した上で検討が必要と考え、当初予算計上を見送りました。また、亀久保小学校放課後児童クラブは入室希望児童が急増したため、プレハブ増設の予算を計上しました。

**答** 上福岡五丁目雨水対策は、東西連絡道路の用地利用計画が明確にならず、設計は今年度に変更、緑ヶ丘二丁目は工法を変更しました。

**問** 既設の雨水浸透・貯留施設維持管理は、今年度から維持管理を定期的に行なうよう予算に反映しています。

**答** 大井東中学校増設は、会議室の転用やプレハブリース教室で対応できる見通しとなり計上を見送りました。

上福岡学校給食センターの用地取得は、農用地除外の手続が必要のため、平成二十五年度に先送りとなりました。